

事業所名

春日井こども発達支援センターてくてく

支援プログラム

作成日

6年

12月

24日

法人（事業所）理念		【SOCIAL INCLUSION】 私たちの愛するこの地域を「いつまでも楽しくずっとくらするまちへ」続いていくように願い、障がいのある方や高齢者、子育てに悩む方が「誰も排除されない社会」を目指して活動しています。					
支援方針		0歳から就学前までの子どもの発達特性に合わせた支援を行う療育機関です。「自分らしく、その人らしく、豊かに生きる」を目標としています。家族で抱えず、発達相談・子育て相談等もお話を聴きながら、子どもたちの成長を応援していきます。子どもたちの「楽しい」「できた」を感じられる活動を通して、それぞれの特性に応じた支援を行い発達を促します。作業療法士・言語聴覚士による個別のアセスメントを実施し、発達状況と特性について把握し、保護者にお伝えするとともに、スタッフ間で共有します。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	◎自分の事は自分でできる力を身に付けます。 先ずは、大人と一緒に取り組む事から始め「自分でできた！」を積み重ねます。手洗い、身支度、トイレなど、1つ1つ段階を踏みながら自分でできていく事が増えていくよう支援します。健康に過ごせるよう、気候に合わせて衣類の調整を促し、室温や換気に配慮して環境を整えます。					
	運動・感覚	◎体を使った遊びを通して、体幹の発達を促し、色々な体の使い方を実践し、しなやかな体づくりをします。 運動あそびでは、「やってみよう！」「できた！」の気持ちを大切に、ジャンプ・くぐる・おす・ひっぱるなど、様々な動きを楽しんで取り組みます。 感覚あそび（スライム・ボールプール等）を始め、手指を使った遊び（新聞あそび・ストローポットン等）を取り入れながら、色々な感覚を経験したり、手指の細かな動きを促します。					
	認知・行動	◎分かる事が増えて自分で行動することができる力を身に付けます。 名前を呼んだら返事ができるかな？から始まり、話をしている人に注目できたり、分かって行動できていくことにつなげます。繰り返していくことや、言葉での指示、物を見たり、一緒に取り組む事で、「分かる」事が増えて「できた」と自信につなげていきます。そして、次もやってみようという気持ちになるよう支援していきます。					
	言語コミュニケーション	◎自分の思いが表現できる力。相手と気持ちの通じる心地よさを感じる力を育みます。 楽しい活動を通して、自分の気持ちを、言葉・仕草やジェスチャー・声などで表現できるよう促します。伝えたい気持ちが育つこと、伝えたいと思う相手がいることを大切に、気持ちの通じる心地よさを感じられるよう支援していきます。					
	人間関係社会性	◎遊びや生活の中でのルールを守り、社会性を身に付けます。スタッフや友だちと関わりながら、楽しく過ごすことができる力を育みます。 楽しい活動なら期待して「待てる」から始まり、発達段階に合わせて無理強ひすることなく、順番や遊び方のルールを守る事を経験していきます。ルールを守る事で、楽しく遊べることも経験の中で学んでいきます。人と関わることを少しずつ広げ、自分の気持ちに折り合いをつけたり、相手の状況に合わせた関わりができて、皆と一緒に楽しく過ごせるよう支援していきます。					
家族支援	お子さんの発達や特性を踏まえ、関わり方等に関して相談・援助をします。また、定期的に講座や座談会を開催し、学ぶ機会や相談できる場を提供していきます。		移行支援・地域支援		園と情報を共有したり、必要な関係機関と連携を図りながら、いろいろな人と関わり、集団参加ができていくよう援助していきます。また、必要に応じて制度やサービスの情報を提供します。		
職員の質の向上	採用時の研修 講師を招いての職員研修 外部研修 毎週のミーティング・自主学習会		主な行事等		音楽療法 夏祭り 公園への散歩 クリスマス会 年長児おめでとうの会 避難訓練 内科検診（年2回） 保護者向け座談会・学習会		